



国債残高がGDPの212%

国債残高六六八兆円

財務省のホームページによると、二〇一一年度末には国債残高が、六六八兆円に達する。これは税収十八年分。GDPの二倍以上。ものすごい借金だ。

借金で大変

こんなに借金まみれで日本は大丈夫なのか？でも、どうして？

もし、借金を返したら

もし、国が全てを返したら、どうなるか？一番困るのは、国にお金を貸していた金融機関、大金持ちだ。返されたお札に埋もれて飢え死にってしまう・・・どうして貸せるの？

国が膨大な借金をできるといことは、膨

大な金を貸せる人がいるということ。その富はどうして出来たのか？空から金塊が降ってきた訳では無い。

すべては生産活動でできた

工業にしても農業にしても、日本の社会で生産活動が行われ、それで富ができた。その富の分配の結果、一部の大金持ち、金融機関が大金を持っているのだ。

配分がおかしい？

その、配分の仕組みがおかしいのではないかと、働く者への配分が多くて良いのではないかと？そうすれば、皆、もっと税金を払い、国も借金しないで済む。

皆さんはどう思われますか？

六ツ川の旧道



京浜急行弘明寺駅ぐみようじのすぐ北に神奈中バスの通る「六ツ川街道」がある。その裏の北側にくねくねした旧道が通る。

一見広い道だが、一九六〇年代までは道の左半分は小川であった。昔は溢れる事もあったのか、絵の豊屋さんには長らく非常用らしいボートが置いてあった。

この角を左に進むと永田南や山王台という住宅地。朝は、そこから弘明寺駅に向かう人が絶えない。

反対に、弘明寺駅を降り、この角を曲がり左に行く学生もいる。県立横浜国際高校に向かう学生達だ。外国語教育に力を入れており、女子学生が多い。

彼女らが通ると、その瞬間、空気が華やぐ。